

参加費無料!

競争、順位、一切なし! 楽しく体を動かそう♪

## SCスマイルTOKAI「ジュニア運動教室」参加者大募集!

ジュニア運動教室は、「運動が苦手」「運動習慣がない」というお子さんが、“遊び”を通して運動の楽しさを体験できる、全7回のプログラムです。教室開催中は、お子さんの運動習慣づくりなどについて講師に質問や相談ができる「保護者サロン」を開設します。水戸ホーリーホックアカデミーコーチによる特別講座も開催しますので、この機会にぜひ参加してみませんか。



### 日時等▼

日時	内容
▽6月24日、7月1日・8日・15日・29日、8月5日(全て木曜日) ▽午後5時～6時	バランストレーニング、的当て、大縄跳び、鬼ごっこ等
▽7月22日(木・祝) ▽午前10時～11時30分	水戸ホーリーホックアカデミーコーチによる特別講座

場所▼総合体育館

対象等▼村内在住・在学の小学4～6年生(先着30人)

講師▼高橋和将さん(茨城キリスト教大学児童教育学科)ほか

その他▼新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止・延期となる場合があります。

申し込み・問い合わせ▼5月28日(金)から6月13日(日)まで(月曜日を除く)の午前8時30分～午後5時15分に、SCスマイルTOKAI事務局(総合体育館内 ☎283-1001)へ申し込みください。

ふるさと歴訪

歴史を再発見!

## 村民の記憶 — 東海村の文化・芸術 —

歴史と未来の交流館学芸員

林 恵子

昭和30(1955)年に村松村と石神村が合併して誕生した東海村。合併直後の昭和31(1956)年には日本原子力研究所の設置が決定し、原子力関連事業所や日立製作所(日立市)に勤務する方々のベッドタウンとして、全国から多くの人が集まってきました。昭和44(1969)年に村内に居を構えたTさんは、現在の東海村文化協会発足メンバーの一人です。東海村に引越してきた当時の印象や、文化・芸術活動を始めようと思っただきつけについて伺いました。

「昭和16(1941)年に宮城県に生まれ、東海村に来たのは28歳の時です。当時、まだ家の周りに水道は通っておらず、井戸を掘って生活をしていました。南台団地や緑ヶ丘団地もできて人口が増加してきたのは、昭和50年代に入ってからです。」

その頃、日本原子力研究所にも日立製作所にも若い人で絵を描いている人が多くいました。日立市には美術協会がありました。東海村にはありませんでしたので、「若い人たちが集まって絵画同好会を作ろう」という話になったのです。これが、現在の東海村文化協会美術連盟の始まりでした。



【第1回「東海村芸術祭」(昭和63年)】

当時、東海村には文化的なものほとんどありませんでした。だからこそ、「東海村を文化・芸術の街にしよう」という強い思いがあり、「口よりも行動あるのみ」と同じ志を持つ仲間たちと、文化祭や芸術祭、アートロードを作り上げていきました。思い返すと、絵画同好会をはじめとした文化・芸術の趣味の集まりは、私たちにあって、知り合いや親戚がいるわけでもないこの地で、人と触れ合えてつながる大切な場所でした。東海村には全国から人が集まってきましたが、新しい視点を持つ人々が多くいたことも、この地に文化・芸術が根付いた一つの理由のようにも思います。」

若く行動力にあふれていたTさんと、志を同じくして共に村の文化・芸術を高めようと活動した方々の思いは、現在の村の文化祭や芸術祭につながり、脈々と受け継がれています。今年も5月16日から「東海ステーションギャラリー」で「東海村芸術祭2021」が開催されています。村の文化・芸術の息吹を感じに、ぜひ足を運んでみませんか。